

令和5年11月28日

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和5年 11月 28日 (火) 14:00~15:00

開催場所：ひなたぼっこえびすヶ丘

出席者：

(人数)

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	1人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	3人	益田市職員	1人
その他(代表者、管理者、施設職員等)			1

### 【行政からの伝達事項】

・気温が下がりインフルエンザも流行している為、入居者の方も職員も体調を崩さないようにしてください。

### 【入居者状況】

入居者9名(女性 9名)

平均年齢 91歳      平均介護度 2、2(1~5)

### 【活動状況】

- ・ 散歩・日光浴・ドライブ・訪問カット
- ・ 新聞折り・塗り絵・体操・下肢訓練
- ・ 巻寿司作り・どら焼き作り
- ・ 季節行事～紅葉ドライブ

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事 故 3件（内出血・薬の飲み忘れ）
- ・ ヒヤリハット 1件（転倒の危険）

【インフルエンザ予防接種】

- ・ 入居者の方・職員接種実施

【その他】

（参加者の方より）

○最近の新聞に、虐待・身体拘束についての記事が掲載されていた。

介護事業で高齢者の虐待・身体拘束の禁止について、虐待防止に向けた措置を行わないと介護報酬を減額する事が掲載されていたが、今でも現場は人員不足等で大変な状況もある中で、委員会の設置・指針の整備・研修の実施・担当者を定める等が義務化になれば更に大変な作業が増えるのではないかと。



当施設に関しては既に行っている内容ではあるが、この数年の間、虐待・身体拘束以外にも感染症や災害・他にも制度で求められることが年々増えてきており、グループホームは小規模で職員人数も少人数で運営している為、必要な事ではあるが、研修・訓練・書類・委員会設置・開催等、こなしていくのが精一杯な面もある。職員全員で入居者の方のためになるよう、内容を工夫しながら行っている。

○久城に益田広域消防本部庁舎建設中であるが、来年完成予定と聞いている。下本郷は災害時の避難場所が、ふれあい会館となっているが、風水害の際は土地が低い為、避難場所としては適していなかったが、今度はその場所への避難が出来るようになるのではないかとと思われるとのこと。

昭和 58 年災害を知っている人がどのくらいいるか。経験がない人はあの時の悲惨な状況が想像つかない。えびすヶ丘は水害被害はなかったが、水道が出ない状況が続き、水の調達に苦労した。

毎年どこかで災害が起きている。地域で自主防災組織はあるが、機能していない面がある。自治会によって差もある。行政だけに頼るのは不可能であるが、自治会でどこまで出来るか課題でもある。

○地域行事

11月にJAミニデイサービスがあり40名参加があった。

12月24日はふれあい会館でしめ縄作りも行う予定となっている。